

速度取締指針

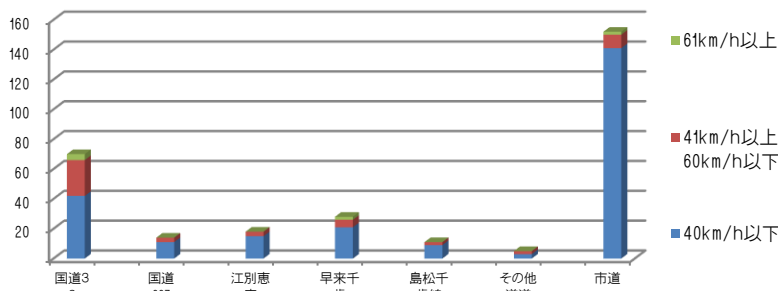
千歳警察署の速度取締りの重点

路線	時間帯	地域	規制速度
国道36号	8時～10時	郊外	法定速度(60km/h)
道道江別恵庭線	8時～10時	郊外	指定速度(50km/h)
	12時～14時		

重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じて取締りを実施します。

千歳警察署管内の交通事故実態等

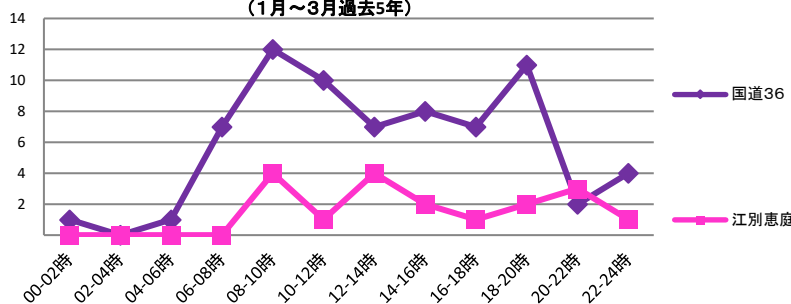
路線別・事故直前の速度別の人身交通事故発生状況(1月～3月過去5年)



○過去5年の人身交通事故発生実態を路線別に比較すると、市道が最も多く、次いで国道36号、道道早来千歳線、道道江別恵庭線の順となっている。

○事故直前の速度を見ると、国道36号は、高速度での事故が占める割合が多い。

国道36号・道道江別恵庭線時間帯別人身事故発生状況(1月～3月過去5年)



過去5年の国道36号と道道江別恵庭線の時間帯別人身交通事故発生状況を見ると

- 国道36号は、8時から10時に多い。
- 道道江別恵庭線は、8時から10時、12時から14時に多い。

道路交通環境

- ◆ 千歳警察署は、千歳市と恵庭市の2市を管轄し、管内には新千歳空港が所在しており、道内交通の要衝となっている。
- ◆ 取締重点の国道36号は、札幌と地方都市を結ぶ主要国道で、トラックなど大型車両の交通量が多いほか、レンタカーを利用する旅行者も多い。
- ◆ 同じく道道江別恵庭線は、道路幅員が広く直線区間が長いため通行車両の速度が早く、大型商業施設が建ち並ぶことから交通量も多い。
- ◆ 郊外には支笏湖など観光地があり、観光客の往来も多く認められる。
- ◆ 市街地では、朝夕の通勤に伴う車両や通学児童等歩行者の交通量が増加し、この時間帯は交通事故の発生が多い。

～令和2年1月1日から令和2年3月31日における人身事故の特徴～

人身事故は総数66件でそのうち89.4%が市街地で発生している。事故類型では、追突や出会い頭など車両相互の事故が77.2%を占め、交差点及びその周辺で多発している。

原因者の年齢は、65歳以上の高齢者と40歳代が22.7%と最も多い。原因は前方不注意などの安全確認不足によるものが57.6%を占める。

その他の交通指導取締りの要点

速度取締りのほか、市街地における交差点違反、シートベルト違反取締りを強化